

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	安心して安全で快適に暮らせる柳井市の実現															
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度 (3年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	柳井市															
計画の目標	快適な生活環境の確保と河川等の水質保全を図るため、公共下水道事業を推進する。 雨水ポンプ場の長寿命計画を策定した箇所において、改築を進める。 多発する集中豪雨等による浸水被害を軽減するため、雨水ポンプ場の整備を進める。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		782	A	782	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)		(H30末)
1	下水道処理人口普及率を29.9%（H28.3.31）から30.2%（H30.3.31）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	299%	%	302%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			
2	長寿命化計画を策定した宮本雨水ポンプ場の改築を行う。			
	長寿命化計画を策定した宮本雨水ポンプ場施設及び設備の改築率	0%	%	100%
	改築済施設数／改築必要施設数			
3	築出雨水ポンプ場整備に必要な法手続き及び基本設計を策定する。			
	雨水ポンプ場整備に必要な法手続き及び基本設計の完了率	0%	%	100%
	完了済業務数／必要業務数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	柳井市	直接	柳井市	管渠（ 污水）	新設	公共下水道污水枝線A1-1-1	L=0. 3km, A=0. 8ha	柳井市	■	■				60		－
		①																	
	A07-002	下水道	一般	柳井市	直接	柳井市	管渠（ 污水）	新設	特定環境保全公共下水道 污水枝線A1-1-2	L=0. 2km, A=0. 5ha	柳井市	■	■				18		－
		①																	
	A07-003	下水道	一般	柳井市	直接	柳井市	ポンプ 場	改築	宮本雨水ポンプ場（3. 36m 3/sec）A1-1-3	雨P×3台	柳井市	■	■	■			654		策定済
		②																	
	A07-004	下水道	一般	柳井市	直接	柳井市	ポンプ 場	－	柳北排水区（築出ポンプ 場 9. 06m3/sec）A1-1-4	測量・調査・設計委託	柳井市	■	■				50		－
		③																	
	A07-005	下水道	一般	柳井市	直接	柳井市	管渠（ 污水）	－	柳井処理区污水管他A1-1-6	測量・調査・設計委託	柳井市	■					0		－
											小計						782		
											合計						782		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

柳井市上下水道部内において、事後評価を実施

事後評価の実施時期

事業終了後

公表の方法

柳井市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率が30.3%（H30.3.31）へ増加し、快適な生活環境や良質な水環境づくりにつながる。
雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減につながる。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き次期整備計画において下水道整備を行うことにより、汚水事業においては公衆衛生の向上、快適な生活環境の確保、河川等の公共用水域の水質保全に努める。
雨水ポンプ場による浸水対策事業においては浸水被害の軽減を図り、安全で安心、快適な暮らしを実現する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）		
	最 終 目標値	302‰	計画的に汚水管渠整備を行い、目標を達成した。
	最 終 実績値	303‰	
2	改築済施設数／改築必要施設数		
	最 終 目標値	100%	当初の計画通り、宮本雨水ポンプ場の改築が完了し、目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	
3	完了済業務数／必要業務数		
	最 終 目標値	100%	計画通り、東土穂石雨水ポンプ場整備に必要な法手続き及び基本設計が完了し、目標を達成した。
	最 終 実績値	100%	